

定例会議7月分（事故の予防について）の感想

事故は事前に防ぐことはできないけれども、その事故が重大ではなく軽微な事故になったり、ひやりはっとのレベルになるように、日頃からアンテナをはって こうなるかもしれない等、気づいたことは発信していかなければならないと感じました。

我々末端の者が、利用者様や周りの人の変化に程よく気づく事が、始まりかなと思います。報連相を思い出して、何でも聞いてくれるんやと安心して報告してもいいのではと思います。

スイスチーズモデルは試験と似たところがあるなと思いました。勉強不足でのミス、ケアレスミスそういうのが重なって試験に落ちる。今すごい当てはまる事例で考えたらすごく理解出来ました

重大な事故などを未然に防ぐためには、ヒヤリハットを無くすことがとても大切だということが分かりました。スイスチーズモデルと併せて仕事だけでなく、日常生活にも活かしていきたいと思いました。

事故を事前に予測して利用者さんにお伝えしても受け入れてもらえないこともあり難しいと感じることもあります。特に何かを購入するなどお金がかかることは難しいです。他の方法を考えて提案することも必要だと思う思いました。今は持病をお持ちの利用者さんとの関わりはないのですが、そういう方と関わった時その方の病気のことを理解して生理的変化を知ることがをしようと思いました。

ヒヤリハットの大切さもわかっているつもりではありますが、支援者側が危ないことを取り除くばかりでは、本人様の危機管理能力の低下にもつながるとも思います。ただ、本人様にどこまでの判断力などがあるかというのもそれぞれでもあり…

そんなことを考えていくと難しいなと感じました

定例会議7月分（事故の予防について）の感想

ヒヤリハットがあった場合は、無くすように意識しています。
熱中症の予防は本人に注意を促しますが、頑固な方で何度も言う
と機嫌が悪くなる事もあり、そういう利用者を誘導する方法があれば
教えて下さい。

最近とても暑くなってきた為熱中症の事気にしています。自分でも
出かける時利用者さんの事も考えて準備も必要かなと思いました。

スイスチーズモデルの話はいつも考えさせられます。小さい穴を潰せ
るよう自分自身も注意していきたいと思いました。

今日のテーマ、事故をいかにして防ぐかという事で、熱中症の季節
真っ只中の今、移動支援の話がよく出ました。

私は最近移動支援が2件減ったこともあり、危険に遭遇することも
少ないのですが、予測出来ない事態を想定して、頭の中でシユミ
レーションしておく事も大事かなと思いました。

新しいサ責の方には又、お世話になります。頑張ってください。
今回もひやりはつとを共有することの大切さはわかっているものの、こ
ちらのいうことをきいてくれないこともあり悩みながら支援していること
もあります。

ヒヤリはつと、スイスチーズモデル、等を教えてもらいました。緊急対
応の、予防、リスクの軽減、起きたときの、対応方法なども、教えて
もらったので、支援時は、確認しながら、支援したいと、思いました。

幅広いヒヤリはつとの対応。現場で生かすことが出来るようにと思
いました。

定例会議7月分（事故の予防について）の感想

色々な利用者がおられるのだと勉強になりました。私の場合は今の所特定な方の支援だけですので、イメージしか描けなかったですが、なるべくなら事故は避けたいと思いました。

事例を共有し重大な事故にならないよう普段の利用者さんを考えて注意だけじゃ無く具体的にどうしようと考えて支援したいと思います。新しいサ責さん宜しくお願いします。

熱中症も野外だけでなく室内でもある事なので本人様の体調の変化など細かく見て行きたいです。どんなことでも小さな積み重ねでいつも同じと言うことはないの見逃さないようにして行きたいです。

自分で、こんなことで？これぐらいの事で？と悩まずに報告する事が、大切だと思いました。

緊急事態を予防する手立てを考える事が何より大切かなと思います。

発作の例でヘッドキャップを装着、でも怪我…。キャップの工夫で安全策を考えたと言うお話、一つ一つの工夫が大切だとよくわかりました。また、事態が起きた時の対処などをしっかりと共有出来ると次に繋がるし、別の事でも使えるヒントになると思います。

小さなミスにつながる状況をそのままにしないことがとても大事である。自分もできていない所が多く、勉強になりました。

小さなミスを放っておくと大きな重大なミスに繋がる事がある為些細な事でも報告し、情報を共有するように心掛けます。

定例会議7月分（事故の予防について）の感想

報告連絡相談や4sヒヤリハットを無くす為に、安全対策や、実例をしっかりと考え、ケア開始時から出来る声掛けなので利用者さんの安全を確保したいと思いました。

予防する事や報告など特に大事な点を改めて勉強できました。

今、支援に入って入る利用者さんでは、事故は無いと思っていますが、油断せず想定外の事もあると、意識して支援をさせていただきます。

ひやりはっとの共有、報連相は大事だと思いました、いつ自分の支援中にもおこり得る事故に対応できるように心がけたいです。

「事故を防ぐ為に」ということで、ひやりはっとう等をしっかりおこなうことが大切であるという基本的なことを現場に落とす為に、この内容の研修を何度もおこなっていく必要性を感じました。

ヒヤリハット等の情報を共有とその情報を他人事と思わず余裕のある時にシミュレーションをしておく、何かがあった時に少しは対処ができると思いました。そして一人では解決しようとしなない事も大切だと改めておもいました。

勉強になりました。災害と一緒に忘れた頃に事故は起こるを意識して、定期的に勉強会を開いてもらえたらと思います。これからも意識して業務に携わりたいと思います。

話を聞かせていただき、改めて、意識的に行動していくことが重要だと感じました。

定例会議7月分（事故の予防について）の感想

ハインリッヒやスイスチーズモデルの振り返りは有益でした。危機意識は持てました。実際の現場で、なにをどのようにどれくらい適応し、脳内訓練しておくのか考えようと思います。

自分の利用者にも、緊急事態が起こるかもしれないという事を、常に考えておかなければいけないと思いました。このように定期的に教えて頂けるのは、とても役立ちます。

次回注意したらいいかと、安易に思わず、どうしたら防げるかの具体案を考えるよう努めます。

ヒヤリハットや予防策を確認し、事故を未然に防げるように心がけて支援しようと改めて思いました。何かが起こると想定し利用者様に合った支援策を自分でも頭に入れて支援しようと思います。

ヒヤリハットをなくすために事例を共有することは大切だと思います。また事例に対する対処法も共有できればヒヤリハットの予防や軽減につながると思います。

ヒヤリハット、軽微な事故、重大な事故の区分を確認しました。命を預かっているという事をしっかりと自覚し小さな事を見逃さないように努めたいと思います

今日は、ヒヤリハットの事例から、リスクがあることを認識して防ぐ、おきたときの解決策を、学びました。また、緊急対策が、必要な場合は、一人では対応せず、回りの人を巻きこみ協力を求めるのも大切です。学びを役にたてていきたいです。

定例会議7月分（事故の予防について）の感想

事故を防ぐ為に！事故にならないように常に利用者の情報(体調や拘り等)を頭に入れて緊張感を持つ事で、事故を減らしていけると思う。もし事故になった場合は慌ててしまうと思うが、落ち着いて対応する事を心がける。

軽微の事故や、重大事故を無くすためには事例を共有することが大事だと分かりましたし転倒や重大な事故までは自身が訪問したり外出支援ではまだ起きてはいたのですが、起きることが無い事は絶対にはないと思うのでもし起きたら1人では対応しようとしないう事、協力を求める事が大事なんだと今日の定例会議で思いました。4Sという言葉も初めて知り、訪問して怪我などが無いようにするにはやはり整理整頓が大事なんだと思いました。

ひやりはっとといった事故がいつ起きるか分からない状況で冷静に対応できる程自分に知識や経験がないということ、日頃から人に頼るといったことが苦手なので対応策等勉強して、人に頼れるよう努力すべきだなと感じました。

改めて軽微な事故にならないようにヒヤリハットの大事さが分かったように思います。

ひやりは無い方がいいのですが、気づいたことは早目に報告したいと

今日は私一人のため時間を作っていたたき有り難うございました、再発防止策、精神論 = そのころかな？再発防止策はやはりヘルパーの業務態度姿勢に尽きるのではないのでしょうか。